

ザグレブの青果市場で見かけたきのこ

氏家 文憲

大分時間が経ってしまいましたが、2017年10月に「8日間で巡る絶景のクロアチア」というパックスツアーに参加し、15日、首都ザグレブの自由散策時間に青果市場（Dolac Farmers' Market）を見学する機会があり、天然きのこ売り場が充実していましたので、皆様にご紹介いたします。

ザグレブの胃袋とも呼ばれる青果市場は、街の中心である共和国広場（イエラチッチ広場）北側の旧市街、観光名所の石の門や聖母被昇天教会の傍近くにあります。日曜日は朝の7時から午後3時頃まで露店が開くそうで、赤いパラソルの下の長テーブルの上に、近郊の農家が栽培する野菜や果物、切り花、手作りの木製玩具やレースなど素朴な品々を並べて販売しています（図1）。売り子は男性も女性も純朴そのもの、みな農家の主人や女将さんでしょう。



図1 ヤマドリタケと思われる木工作品



図2 天然きのこ売り場と女将さん

その中に、天然きのこを商っている店が数軒あり、カノシタ、カラカサタケ、クロラッパタケ、ナラタケ、ヤマドリタケなどがてんこ盛りに並べられています（図2-6）。



図3 カノシタ（左上）とカラカサタケ（中央）と不明種（右上）



図4 クロラツパタケ



図5 美味しそうなナラタケ

前日の14日にスロベニアの観光地、アルプスの瞳と謳われるブレッド湖を訪ね、湖心のブレッド島に建つ聖マリア教会境内や湖畔公園などを散策しましたが、その緑地にもナラタケの幼菌や成菌がよきよき、ポンドガールのような絶世の美女、現地ガイドのマリアさんの話では、有毒なので誰も採らないとか、もったいない(図7と8)。クロアチアとスロベニアは隣国ですが、ところ変われば食習慣も異なると云う事でしょうか。いやはやもったいない。

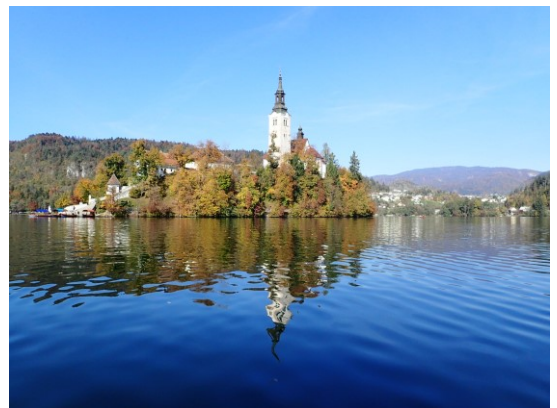


図7 ブレッド湖と湖心の島に建つ聖マリア教会



図6 立派なヤマドリタケ



図8 誰も採らない湖畔公園のナラタケ

クロアチアやスロベニアでは今がきのこ狩りの最盛期との事、南スラヴ人はきのこ好きとの事で、きっと前日から朝にかけて森に分け入り採集してきたものでしょう。